

# 経済・金融 フラッシュ

## ユーロ圏失業率(2021年7月) —失業率はさらに低下し、7.6%に

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

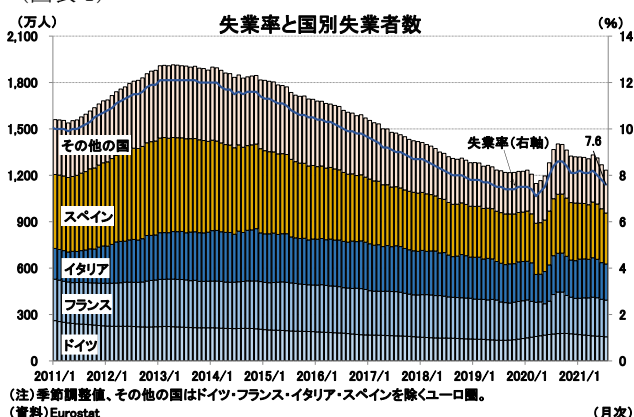
### 1. 結果の概要:失業率の低下が続く

9月1日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

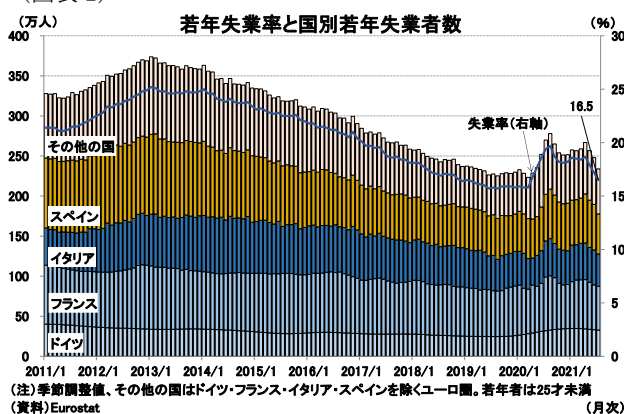
#### 【ユーロ圏 19 か国失業率（2021年6月、季節調整値）】

- ・失業率は7.6%、市場予想<sup>1</sup>（7.6%）と同じで、前月（7.8%）から改善した（図表1）
- ・失業者は1233.4万人となり、前月（1268.4万人）から35.0万人減少した

(図表1)



(図表2)



### 2. 結果の詳細:5月以降の失業者減少が顕著

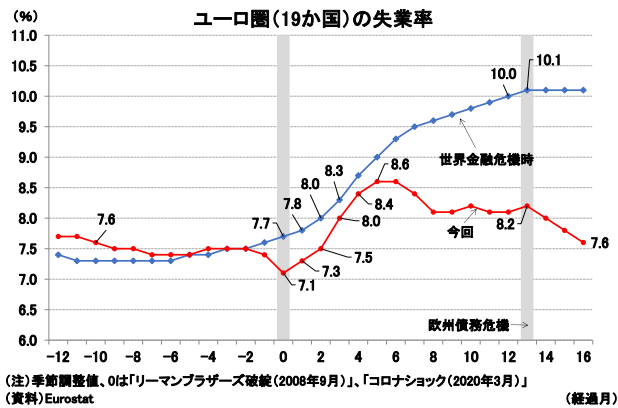
ユーロ圏の7月の失業率は7.6%と前月から低下した。前月までの改定値は6月が7.7%から7.8%と小幅に変更され、それ以前の月の修正幅も小さかった。7月の失業者数は前月差で35.0万人減となり、7月までの3か月間で合計98.7万人の減少となった（図表4）

7月の若年失業率は16.5%と6月（17.2%）から大幅に改善した（図表2）。若年失業率も6月の改定値は17.2%（改定前17.3%）と小幅で、それ以前の月の修正幅も小さかった。

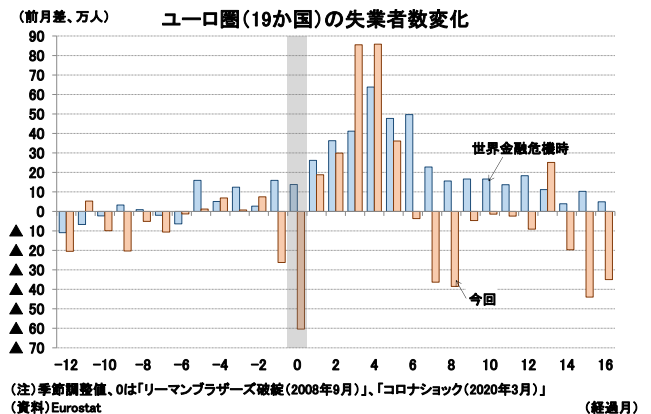
失業率は2019年5月（7.6%）、若年失業率は2019年1月（16.5%）の水準まで低下しており、ほぼコロナ禍前の水準に戻っている（図表1・3）。失業者数でも、今年の5月以降の失業者の減少幅は顕著で、行動制限の緩和に伴って雇用環境も改善している様子が分かる（図表4）。

<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

(図表 3)

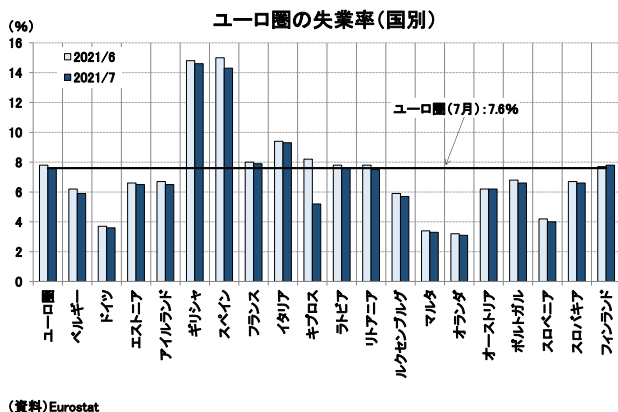


(図表 4)

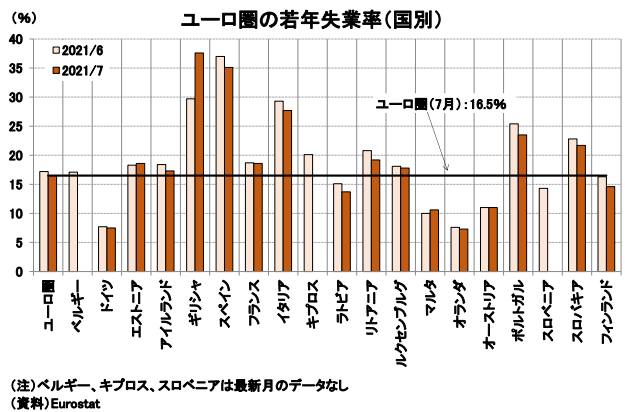


国別の6月のデータを見ると、19か国中悪化が1か国、改善が17か国、横ばいが1か国だった。また、若年失業率では公表されている16か国中悪化が3か国、改善が12か国、横ばいが1か国となった(図表5・6)。ギリシャの若年失業率では悪化が目立つが、全体として見れば改善していると言える。

(図表 5)

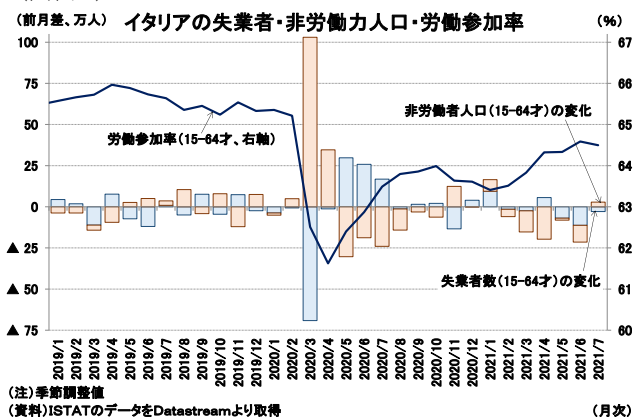


(図表 6)

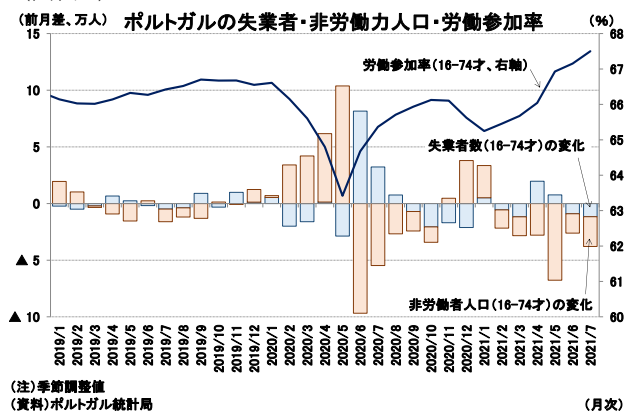


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアでは7月は失業者がわずかに減少したものの雇用者も減少し、非労働力人口が増加している(図表7)。イタリアの失業率は9.3%と2011年10月(8.9%)以来の低い水準(コロナ禍直後に労働参加率が急減し失業率も減少した月を除く)まで改善しているが、労働市場の参加者はコロナ前と比較してまだ少ない。一方で、ポルトガルでは失業者と非労働力人口が減少し、雇用者が増加している(図表8)。その結果、労働参加率はコロナ禍前の水準を上回る状況まで改善している。

(図表 7)



(図表 8)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。